

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 平成30年度第1回会議
開催日時	平成30年5月29日(火) 午前10時から12時
開催場所	保谷庁舎 2階会議室
出席者	委員：鈴木委員、石井委員、多々良委員、近辻委員、都築委員、廣瀬委員 事務局：掛谷課長、田中係長、亀田主事、齊藤主事、青木主事、沼上文化財保護専門員
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成30年度文化財事業等の予定について 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について (2) 天神社の総合調査について 4 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 下野谷遺跡の保存・活用について (2) 文化財事業実施報告 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財 ・その他の文化財事業等 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> 国史跡下野谷遺跡整備基本計画策定懇談会委員の推薦について 6 閉会
会議資料の名称	資料1 平成30年度主な文化財事業等の予定 資料2 西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について 資料3 総合調査関係資料 資料4 下野谷遺跡の保存・活用について 資料5 西東京市郷土資料室の展示更新について 資料6 埋蔵文化財調査一覧 資料7 文化財事業一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	

1. 開会

- 鈴木会長：ただいまより平成30年度第1回定例会を始める。
- 事務局：新年度の事務局の紹介。配布資料・出欠の確認。前回会議録案について訂正等ある場合は来週中までに連絡願いたい。

2. 平成30年度文化財事業等の予定について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料1に沿って説明）
天神社の総合調査や各種普及事業、下野谷遺跡整備基本計画の策定などにより、市域の文化財の調査研究、普及啓発及び活用推進に取り組む予定である。
- 鈴木会長：何か意見はあるか。
- 近辻委員：天神社総合調査は昨年度から始めるのではなかったか。
- 事務局：調査員制度について整理しきれていない部分があり、動き出せていなかった。文化財保護審議会の今任期中をひとつの目途と考えているので、後ほど意見をうかがいたい。
- 近辻委員：下野谷遺跡整備基本計画策定懇談会は、新しく立ち上げるのか。
- 事務局：昨年度に策定した「下野谷遺跡保存活用計画」に基づき、整備基本計画を策定するため、新たに設置するものである。

3. 協議事項

(1) 西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料2に沿って説明）
『西東京市文化財保存・活用計画』に基づき、取組状況を本審議会へ報告し、委員から意見をいただきながら進行管理をしていく。次回会議では、委員意見を加えた資料を示したい。
各課の取組状況について説明。
- 鈴木会長：何か意見はあるか。
- 都築委員：“保谷訛り”が抜けているので、調査に入れてほしい。
- 事務局：以前から聞き取りが最後の段階だと意見があった。検討する。
- 鈴木会長：事業の継続性や昨年度の本審議会意見などがわかるようになるとよい。
- 事務局：昨年度の取組内容等の資料も参考に送付する。
- 石井委員：西東京市の指定文化財は江戸時代中心で、明治初期が何点かあるだけである。明治以降の文化財をどう考えるかという方針がないと、なくなってしまいうこともあり得る。訛りも含めて、未来の文化財をつくるような施策を考えておいた方がよい。
- 近辻委員：以前、個人宅から発見された近現代の文書の基礎整理を行った。その後どうなっているのか。
- 事務局：そのままになっており、まとめに至っていない。
- 近辻委員：形にしておいてもらいたい。
- 事務局：市民からいただいた資料は個人情報が多く、検討課題となっている。
- 近辻委員：本人が提供したものならいいのではないか。固有名詞のない地域資料は意

味がない。100年経ったらいいのではないかと思う。

- 都築委員：公にしなくても、目録などを作り文化財の資料として整理されているということが大事である。
- 近辻委員：その後借りていた資料は返却したのか。
- 事務局：一部返却し、さらに整理の必要なものは引き続きお借りしている。
- 都築委員：寄託を受けたり、借りる期間を設けたりすると良い。そうすると所有者の理解があれば捨てられずにすむ。
- 事務局：検討する。

(2) 天神社の総合調査について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料3に沿って説明)
文化財を総合的にみるモデルケースを作りたいと考えており、この総合調査でひとつの方向性を示したい。
調査体制として、主たる調査員を資料に名前のある4名にお願いします。調査員の補助は2名程度とし、前回近辻委員より候補を上げていただいた方で考えたい。
総合調査員と総合調査協力員として教育長から依頼し、調査いただきたい。5日程度を想定し、調査員謝金の予算措置を行っている。
本来であれば、まず全ての文化財を洗い出すことから始めるが、時間的制約もあるので、ある程度のストーリーを共有した中で結びつく文化財を検討いただき、最終的にひとつの形にするという方向はいかがだろうか。
- 鈴木会長：何か意見はあるか。
- 都築委員：関連文化財群ストーリーの中で宗教を扱うのは難しいと思うので、あくまでも天神社を中心にまとめるのがよいのではないか。
今年度は成果をまとめ、来年度はリーフレットではなく、冊子などを刊行する方向で検討してほしい。
- 近辻委員：既に調査できている部分があるので、報告書の草案は年内にはできるだろう。ただ、民俗の分野は幅が広く、1年で取り組むには限界がある。
- 石井委員：天神社を中心とした下保谷地域のつながりを考えるうえでは、信仰を抜きには考えにくい。「天神社」と「農村の暮らしと文化」とを並列にするのではなく、天神社を中心に、「農村の暮らしと文化」を少し後ろに置くと総合的に見えるようになる。取組みの進め方として、下保谷の方に調査協力員にお願いしますのが現実的だろう。
- 近辻委員：下保谷には活発に活動している団体があるため、期待できる。
- 石井委員：きちんとスケジュールを組んでいくことが大切である。民俗では特に調査協力員との関わりが多いので、私からもお願いしていく。
資料を見ると調査ごとに担当が分かれており、全体をまとめる部分がないが、できれば鈴木会長に総括をお願いしたい。
- 鈴木会長：総括も必要な部分であり、引き受ける。
事務局としては年度・任期の制約があるのだろうが、長期的に調査を依頼するという方法もある。
- 近辻委員：一応は、ひとつの区切りとして締め切りを決めて進めたほうがよい。
- 鈴木会長：平成31年を刊行目標としていきたい。

鎮守の森の文化的景観について、都築委員にお願いできないか。

- 都築委員：協力はさせていただきます。
 - 近辻委員：下保谷地域は、西東京市の中でも人々の繋がりが強い。下保谷の特徴がきちんとまとめられるようにしたい。
 - 事務局：もう一度まとまって天神社に行く必要はあるか。
 - 鈴木会長：最終的な意見調整をするときなど、ある程度進んでからでもいいのではないか。
 - 石井委員：調査協力員が決まったら1度会議をしたらどうか。そこで方向性を検討する。我々では中に入れない部分もある。
 - 事務局：調査協力員をどのように選ぶか。事務局では調査協力員に関して選び方を特に決めていないが、公募ではなく調査員からの推薦等で考えている。
 - 近辻委員：協力調査員は調査員が推薦するのが1番良いと思う。
 - 事務局：調査分野で補助ができる知識を有する市民を教育長から依頼する、という形で考えている。
 - 都築委員：今回は総合調査に向けての調査協力員として設置し、今後はまた別に取り組むのか。
 - 事務局：今回をモデルケースとして考えている。今回は総合調査のための設置で、依頼があった年度で考えている。その後検討する。そのため、文化財保護審議会委員の任期の時期とはずれてしまう部分がある。
 - 都築委員：任期中に先生方が原稿のチェックをし、その後刊行する。
 - 事務局：調査協力員として他に推薦はあるか。
 - 近辻委員：1人推薦する。
 - 石井委員：特に民俗資料の部分では生態系とか理科的な部分も必要だし、調査協力員に文化財の所有者が入ってもらった方が調査しやすい部分がある。下保谷を支えてきた藍などの産業や屋敷林なども含めて考え、誰が適任かということを図って調査してほしい。
 - 廣瀬委員：氏子代表の方も入れておく必要があるだろう。
 - 事務局：推薦のあった2名を候補として、地元氏子代表や市民団体にも協力をいただく形で精査する。これによろしければ、調査協力員の取り扱いや協力の範囲など事務局で組み立てたい。調査の目的の一つとして、市民が文化財を身近なものとして知ることが望ましいこともあり、なるべくいろいろな方に入ってほしい。
- 委員の任期を考慮し、報告書は平成31年7月ごろの刊行を予定とする。今後、分野ごとに個別に調査研究を進めていき、文化財保護審議会で調査の様子を報告する。11月に調査の会議を開き、関連文化財群をまとめていく。ストーリーをある程度決め、執筆を進めていく中で、文化財保護審議会でも報告し、方向性を確認していただく。調査の会議については、文化財保護審議会の全委員へ連絡する。担当の委員とは日程調整し、その他の委員も都合のつく方には出席していただきたい。

4. 報告事項

(1) 下野谷遺跡の保存・活用について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料4に沿って説明)

史跡下野谷遺跡保存活用計画の策定、国史跡「下野谷遺跡」の追加指定、活用事業としてシンポジウム・縄文モニュメント設置記念イベント・下野谷遺跡公園での春のイベントを開催。

(2) 文化財事業実施報告

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料5・6・7に沿って説明)
郷土資料室の一部リニューアルを行った。
 - ・埋蔵文化財調査下野谷遺跡では確認調査、坂下遺跡では本調査を実施した。
 - ・文化財事業文化財保存事業4つ、文化財普及事業6つ、学校支援事業1つ、その他1つを実施した。
- 鈴木会長：何か質問・意見はあるか。
- 都築委員：埋蔵文化財調査について詳しい説明をお願いします。
- 事務局：・下野谷遺跡第26次調査について
掘立柱建物に関連すると思われるピットを数基発見した。
北側の調査も行いたかったが、調査中に大雨が降り、このような形での調査とした。ピット群と住居址群の確認はできたが、掘立柱建物の柱の並びまでは確認できなかった。
 - ・坂下遺跡第5次調査について計画建物の基礎の形状に合わせ、場所により発掘の深度を変え調査した。
旧石器時代の遺物を発見した。

5. その他

国史跡下野谷遺跡整備基本計画策定懇談会委員の推薦について

- 鈴木会長：都築委員にお願いしたい。いかがだろうか。
- 委員：賛成。
- 鈴木会長：全体を通して何かあるか。
- 事務局：天神社の総合調査にあたり、必要な資料等があれば調べる。
- 鈴木会長：数年前に天神社のアルバムが芝久保図書館にあったのだが、最近調べたら出てなくなった。
- 近辻委員：蓮見家文書の電子データ化の話聞いたが、どのような状況か。文書そのものの写真のPDF版を作って、誰でも見られるようになる。
- 都築委員：絵図は電子化されていると中央図書館で聞いた記憶がある。
埋蔵文化財のことだが、報告書を出した方がいい。調査の記録をきちんと残すこともそうだが、補助金を使用しているし、公にする必要がある。
- 鈴木会長：下野谷遺跡保存活用計画に書いてある博物館のことは進んでいるのか。
- 事務局：市の総合計画に位置づけながら進めることとなり、時間を要する。まずは短期的なところとして市の公有地の面的な整備を行う。
- 事務局：次回の会議は8月ごろを予定している。日程調整する。

5. 閉会

- 鈴木会長：以上をもって、平成30年度第1回会議を閉会する。